

評価結果反映報告書

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの 2023 年度業務実績評価結果の主要な反映状況

評価項目	評価における主な指摘事項	2024 年度の業務運営等への反映状況
2023 年度業務実績評価 全体評価	公益財団法人東京都中小企業振興公社など、他の中小企業支援機関との連携を強化することで、都産技研のプレゼンス向上や、様々な支援事業の充実につなげることを期待する。	以下の取組を通じて、他の中小企業支援機関との連携強化により、都産技研のプレゼンス向上、支援事業の充実を図っている。 1) 東京都中小企業振興公社（公社）との連携 ・新たに東京都知的財産総合センターの製品コーディネータとの交流会・勉強会を開催。都産技研の技術支援・研究開発内容の紹介、施設見学を通して都産技研業務への理解を深めていただき、連携しての中小企業技術相談 6 件に発展（項目 10） ・都産技研バンコク支所を公社タイ事務所の隣に移転し、連携を強化。連携相談実績が移転前の約 3 倍に増加（項目 12） 2) Tokyo Innovation Base (TIB) との連携 ・TIB 主催「TIB FAB Makers Challenge」デモデイに、都産技研職員が審査員として参加（項目 11） 3) 多摩地域の信金・商工団体向け相談窓口の新設 ・多摩地域の信金・商工団体 11 機関向け相談窓口を新たに開設し、並走支援による技術支援を開始（項目 13） 4) 金融機関との連携 ・東京商工会議所、きらぼし銀行産学連携セミナーに出講し、セミナー参加者からの技術相談 1 件に対応（項目 10） ・東京東信用金庫との同行技術相談を 5 件実施（項目 10）

2023 年度業務実績評価 全体評価	業務のDXを更に推進し、より効率的な業務運営のみならず、データの利活用等による中小企業支援の質の向上に資する取組を進めていくことが望まれる。	以下の取組を通じて、効率的な業務運営や、中小企業支援の質の向上を推進している。 1) 効率的な業務運営 ・所内向けチャットボットを導入し、定型的な事務手続きに関する情報提供を効率化（項目 17） ・デジタル化実証プロジェクトによる職員の自発的な DX 化活動を継続（項目 17） 2) 中小企業支援の質の向上 ・公設試として初の取り組みとなる簡易技術相談チャットボットを導入。チャットボット設計時において、蓄積した技術相談情報を活用し、よく寄せられる相談を元に Q&A を構築（項目 1） ・機器利用予約システムの運用部署を拡大（項目 17） ・技術セミナーのオンデマンド配信について会員制サイトを開設し、講座ごとの受講者情報登録を不要化（項目 15） ・電話対応の QoS 向上と通話内容のデータ化を目指して、ZoomPhone による通話内容の録音及び文字起こしを試行（項目 17）
-------------------------------	---	--